

# 授業概要

分 野		学科目	1年前期		90分講義 15 回
専門分野 I		看護学概論	30 時間	1 単位	
授業科目			講師名		
看護の機能と役割			専任教員(実務経験者)		
科目 目 標	1.看護の歴史と健康の意味および看護とは何かを学ぶ。 2.人間理解と地域生活を営む看護の対象を理解し看護ケアのマネジメントについて学ぶ。 3.看護実践の基盤となる看護技術並びに倫理・法的側面の基本的内容について学ぶ。 4.保健・医療・福祉システムにおける看護の展開と継続性を理解する。 5.看護の拡大と質の高い看護について学ぶ。				
	回数	項目	内容		
	1	看護の歴史の変遷と現代社会の看護のあり方	1.看護のねらい(看護とは、看護の役割) 2.実践科学としての看護 3.看護実践のための基準 4.看護の変遷 5.現代社会と看護のあり方		
	2	看護の対象理解	1. 総合体としての人間 2. 成長・発達の概念 3. 小児期から成人期の概念 4. 老年の概念 5. 人体の構造と変化		
	3	健康と病気のとらえ方	1. 健康・病気の捉え方の変遷 2. 健康に影響を及ぼす要因 3. 看護における健康と病気		
科目 内 容	4	人の生活と看護の継続性	1. 個人、家族、コミュニティ、地域社会2. 健康障害を持つ対象の理解、 3. ストレスと適応		
	5	看護実践のための理論的根拠	1. 理論と実践 2. 看護理論の分類 3. 看護理論の変遷 4. 様々な看護理論		
	6	看護実践のための倫理と価値	1. 看護倫理とは 2. 看護における倫理の必要性 3. 価値 4. 道徳的ジレンマと倫理的課題 5. 倫理的看護実践を行うための対応		
	7	看護援助の基本的役割	1. コミュニケーターとしての役割 2. 支援者、代弁者としての役割 3. 教育者およびカウンセラーとしての役割 4. 根拠に基づいたケア		
	8	看護過程と看護活動	1. 看護過程とは 2. 看護実践における看護過程の展開 3. 看護診断 4. 看護記録		
	9	体験型職場見学	1、看護師の活動の場と実際 2、対象の環境の実際 3、看護師の役割理解		
	10				
	11	体験による対象理解と看護師の役割	1、看護場面の実際から学ぶ看護師の役割と責務 2、看護師の役割に向けた必要性		
	12	保健・医療・福祉システムにおける連携と協働	1. 保健・医療・福祉の概念 2. 保険医療福祉サービスの提供の場のタイプ 3. 保健・医療・福祉チーム 4. 保健・医療・福祉におけるケア提供 5. 看護のサービスに対する評価		
	13	地域生活者と看護の継続性	1. 看護のマネジメント 2. 質の高い看護ケアを行うために 3. 医療安全への取り組み 4. 病院組織とリーダーシップ 5. 統合していく力		
	14	看護における法的側面	1. 法の概念 2. 看護実践の職業的および法的規則 3. 医療事故における法的責任 4. 看護実践に影響を及ぼす法律		
	15	看護拡大と質の高い看護ケア	1. 災害看護の必要性2. 定義・分類 3. 医療と拠点病院・看護の概要 4. 国際保健・看護 5. 開発途上国の健康問題 6. 国際協力活動 7. 日本・地域における国際的看護の実際と看護職に求められるもの		
【授業形態】 講義、演習					
【評価方法】 筆記試験、レポート、出席状況					
【テキスト】 ナーシンググラフィカ 基礎看護学①看護学概論 メディカ出版					